

# I C O 管理会計アタックⅡコース 第1回

**総合問題 11**

**直前問題 第1問  
部門別個別原価計算**

**2009年合格目標**

**問題 1** 実際部門別個別原価計算を実施しているある工場の次に示す資料にもとづいて、(a)製造指図書別原価計算表を作成し、(b)原価差異(材料消費価格差異、賃率差異および製造部門費配賦差異)を算定しなさい。

1. 月初材料有高および当月材料仕入高

	月 初 有 高	当 月 仕 入 高
A 材 料	@ 302 円、 2,000kg	@ 308 円、 6,000kg
B 材 料	@ 510 円、 1,500kg	@ 505 円、 4,000kg
補助材料	180,000 円	500,000 円

2. 製造指図書別の材料消費量および直接作業時間数

	No. 10	No. 11	No. 12	No. 10-2	No. 11-2	No. 12-2
材料消費量						
A 材 料	2,100kg	500kg	1,400kg	150kg	1,500kg	400kg
B 材 料	800kg	600kg	1,000kg	—	1,200kg	200kg
直接作業時間						
甲 部 門	820 時間	230 時間	560 時間	90 時間	780 時間	190 時間
乙 部 門	690 時間	180 時間	720 時間	—	810 時間	240 時間

(注)① 材料の予定消費価格は、A材料@ 300 円、B材料@ 500 円である。また、材料の実際払出額は先入先出法で計算する。

② 部門別予定平均賃率は、甲部門@ 520 円、乙部門@ 630 円である。また、直接労務費の実際発生額は 3,040,000 円である。

3. 当月中の製造間接費実際発生額

(1) 補助材料費

甲部門 209,500 円、乙部門 158,000 円、動力部 30,000 円、修繕部 20,000 円、管理部 2,000 円

(2) 間接労務費

甲部門 418,000 円、乙部門 420,000 円、動力部 80,000 円、修繕部 80,000 円、管理部 90,000 円

(3) 間接経費

a. 部門個別費

甲部門 200,000 円、乙部門 150,000 円、動力部 80,000 円、修繕部 40,000 円、管理部 30,000 円

b. 部門共通費 300,000 円

4. 作業屑発生高(評価額は1kgあたり150円)

No. 10 50kg、甲部門 40kg、修繕部 10kg、合計 100kg

指図書 No. 10 より発生した作業屑の評価額は No. 10 の直接材料費より差し引く。また、甲部門、修繕部で発生した作業屑の評価額はそれぞれの部門費より差し引く。

5. 部門共通費(間接経費)は、間接経費の部門個別費額を基準に配賦する。

6. 補助部門費は直接配賦法によって配賦する。なお、補助部門の用役提供割合は次のとおりである。

補助部門名	製 造 部 門		補 助 部 門		
	甲 部 門	乙 部 門	動 力 部	修 繕 部	管 理 部
動 力 部 費	40%	30%	—%	25%	5%
修 繕 部 費	25	40	30	—	5
管 理 部 費	30	40	20	10	—

7. 製造間接費の指図書別配賦額の計算は、直接作業時間を配賦基準とし、次の予定配賦率を用いて行う。

甲部門 @ 420 円      乙部門 @ 400 円

8. 製造指図書の作業は、すべて当月中に開始したものであり、また当月中に終了している。

9. 製造指図書のうち No. 10-2、11-2、12-2 は、いずれも仕損品の発生に伴うものである。No. 10-2 は仕損品の補修のための指図書、No. 11-2 は指示された作業の全部が仕損となったため代品の製作にあてられた指図書、また No. 12-2 は指示された作業の一部に仕損が発生したために代品の製作にあてられた指図書である。

10. 製造指図書 No. 11 に関連した仕損品の売却価値(見積額)は 500,000 円である。

**問題2** 次の資料に基づいて下記の設問に答えなさい。

**〔資料〕**

- 当工場は、個別原価計算制度を採用している。当月は、会計期間における最終の原価計算期間に当たる。
- 当月は、製造指図書#112、113、122、123および112-1について行っており、これらについての詳細なデータは次のとおりである。

製造指図書番号	製造命令	着手日	月末の状況	備 考
# 112	X製品 20個	前月 10日	完 成	引渡し済みである。
# 113	X製品 50個	当月 18日	仕掛中	着手分についてはすべて完成しており、引渡しも完了した。なお、引渡分について売上を計上している。
# 122	Y製品 30個	前月 15日	完 成	引渡しは未了である。
# 123	Y製品 30個	当月 20日	仕掛中	20個は完成したが、引渡しは未了である。
# 112-1	X製品 2個	当月 12日	完 成	製造指図書 No. 112 において生じた仕損品の代品である。

# 112 の仕損品の評価額はゼロである。

- 当月において各製造指図書の原価計算表に集計された製造直接費は次のとおりである。(単位：円)

	# 112	# 113	# 122	# 123	# 112-1
直接材料費	423,000	842,000	585,000	658,000	86,000
直接労務費	335,000	768,000	735,000	887,000	76,000

なお、前月までに製造指図書について集計された原価は次のとおりである。

# 112 450,000 円 (内製造間接費 151,400 円)

# 122 422,000 円 (内製造間接費 132,100 円)

- 製造間接費については、各製品に予定配賦している。製造間接費についてのデータは次のとおりである。

- 年次の製造間接費予算を基にした当月の製造間接費予算は、次のとおりである。

変動間接費率 1,200 円/時間

固定間接費予算額 2,250,000 円

なお、月間操業時間が 1,400 時間を超えると、超過分について上記の変動製造間接費率が 150 円上昇する。当月の予定操業度は、月間 1,500 時間である。

- 年次の製造間接費予算を基にした予定配賦率は 2,710 円/時間であり、各製造指図書別の当月の配賦基準数値は次のとおりである。

	# 112	# 113	# 122	# 123	# 112-1	合計
配賦基準数値 (時間)	210	430	330	560	20	1,550

- 製造間接費実際発生額

変動間接費 1,980,000 円

固定間接費 2,250,000 円

- 前月までのデータは次のとおりである。

製造間接費配賦差異 154,070 円 (借方差異)

売上原価 83,850,000 円 (内製造間接費 31,805,000 円)

前月末製品 1,256,000 円 (内製造間接費 425,000 円)

前月末仕掛品  円 (内製造間接費  円)

なお、前月末製品は当月においてその引渡しは完了している。

**問1** 解答用紙の原価計算表を完成させなさい。

**問2** 当月の製造間接費配賦差異と月次の製造間接費予算を利用した予算差異を算定しなさい。なお、有利・不利およびその計算過程を明示しなさい。

**問3** **問2** において算定した製造間接費配賦差異と予算差異の性質の相違について説明しなさい。

**問4** 製造間接費配賦差異は、予定配賦率が不適当なために生じた比較的多額の差異であることを前提として、当会計期間の期末仕掛品原価、期末製品原価および売上原価を計算すると共に、製造間接費配賦差異の追加配賦についての仕訳を示しなさい。なお、製造間接費の追加配賦は、製造間接費予定配賦額を基準として行いなさい。ただし、当会計期間において製造間接費配賦差異以外の原価差異はゼロであった。

**問5** 原価計算基準における製造間接費配賦差異の会計処理について説明しなさい。

ホッチキスで必ず留めてください。

**【解答用紙】**

**第 1 問 提出不要 50 点満点 自己採点：**  **点**

**問題 1** (17.5 点)

(a) 製造指図書別原価計算表

指図書 No.	No. 10	No. 11-2	No. 12
費目			
直接材料費	円	円	円
直接労務費			
製造間接費			
小計			
仕損費			
製造原価計	円	円	円

(b) 原価差異 ( ) 内に有利・不利を記入しなさい。

- (1) 材料消費価格差異 .....  円 ( )
- (2) 賃率差異 .....  円 ( )
- (3) 製造部門費配賦差異
  - 甲部門 .....  円 ( )
  - 乙部門 .....  円 ( )

**問題 2** (32.5 点)

**問 1** (単位：円)

	#112	#113	#122	#123	#112-1
月初仕掛品	450,000	—	422,000	—	—
直接材料費	423,000	842,000	585,000	658,000	86,000
直接労務費	335,000	768,000	735,000	887,000	76,000
製造間接費	( )	( )	( )	( )	( )
仕損費	( )	( )	( )	( )	( )
合計	( )	( )	( )	( )	( )

**問 2** ( ) 内には有利・不利の別を記入すること。

製造間接費配賦差異

計算過程：

答 円 ( )

予算差異

計算過程：

答 円 ( )

**問 3**

.....

.....

.....

**問 4** 期末仕掛品原価  円 期末製品原価  円 売上原価  円

仕訳 (単位：円)

(借方)	(貸方)

**問 5**

.....

.....

.....

.....